

## 奨励2点、特別1点 地方出版文化功労賞決まる /鳥取

毎日新聞 2019年9月5日 地方版

鳥取県 > カルチャー > 芸術・文化 >



第32回地方出版文化功労賞を受賞した3点  
＝鳥取県庁で、小坂春乃撮影

地方の出版活動を奨励する「第32回地方出版文化功労賞」の受賞作品が発表された。奨励賞には「ほっとかない郊外—ニュータウンを次世代につなぐ」（泉北ほっとかない郊外編集委員会著、大阪公立大学共同出版会刊）と「満洲分村移民を拒否した村長 佐々木忠綱の生き方と信念」（大日方悦夫さん著、信濃毎日新聞社刊）の2点が選ばれた。

1987年から毎年、県内と東京23区を除く地方の出版社が発行した本から、県内の本の愛好家らでつくる「ブックインとっとり実行委」が選んでいる。今回は2017年10月～18年9月に出版された302冊が対象。

特別賞は「北武蔵の和算家」（山口正義さん著、まつやま書房刊）が受賞した。最高賞である功労賞は今回該当がなかった。

3点は倉吉市立図書館である「ブックインとっとり2019」（11月1～4日）で展示される。また期間中の2日には、倉吉交流プラザ視聴覚ホールで授賞式がある。【小坂

春乃】

埼玉新聞 2019年8月28日

特別賞に山口さんの「北武蔵の和算家」  
地方出版文化功労賞  
鳥取県内の読書愛好家らが、地方の出版社が発行した本を対象に選ぶ第32回「地方出版文化功労賞」の奨励賞2作品などが26日、発表された。最も優れた作品に贈られる地方出版文化功労賞の該当作はなかった。  
選ばれたのは、泉北ほっとかない郊外編集委員会の「ほっとかない郊外—ニュータウンを次世代につなぐ」（大阪公立大共同出版会）と、大日方悦夫さんの「満洲分村移民を拒否した村長 佐々木忠綱の生き方と信念」（信濃毎日新聞社）。  
地方出版文化功労賞の特別賞には山口正義さんの「北武蔵の和算家」（まつやま書房）が選ばれた。  
11月に鳥取県倉吉市で表彰式が開催される。